

# 令和4年度 学校評価の報告

市川三郷町立市川中学校  
校長 上田 真司

## 1. 目的について

学校教育法第42条により、「小学校(中学校)は文部科学省の定めるところにより、教育活動その他の学校運営の状況について評価を行い、その結果に基づき学校運営の改善を図るため必要な措置を講ずることにより、教育水準の向上に努めなくてはならない。」とある。本校では、4月に学校長より提示されたグランドデザインに基づく本校の教育活動が適正に運営されているかを評価し、今後の教育活動をより良きものにしていくための対策を講ずることを目的とし実施した。

## 2. 実施計画

11月 7日(月)	職員会議(項目・内容検討)
12月 1日(木)	保護者へ依頼文書発出 生徒アンケート・保護者アンケート・職員自己評価 開始
7日(水)	生徒アンケート回答メ切
10日(土)	保護者アンケート回答メ切
15日(木)	職員自己評価回答メ切
1月16日(月)	職員会議にて結果の考察および改善策の検討
2月16日(木)	学校評価の考察と改善に向けての方向性を保護者に公表
17日(金)	学校評価の概要を教育委員会に提出

## 3. アンケート・自己評価の項目

学校グランドデザインに示した各領域ごとに質問事項を設けた。(内容は別紙参照)  
項目数は、対象によって異なる。

## 4. アンケート・自己評価の評価方法

A・B・C・Dの4段階評価を行い、各評価の割合比較を行った。特に、グランドデザイン「取組の指標」に焦点をあて、達成状況を分析した。

## 5. グランドデザイン「取組の指標」に対する学校評価の考察

\*【別紙グラフ】「取組の指標」と関連する部分に、数値目標を「青線」で追記。

### I. 確かな学力の育成に関して

#### ●あなたは授業内容が理解できていますか？(取組の指標：AB80%以上)

##### 〈集計結果及び状況分析〉

- ・生徒 「A・B」と回答した生徒が約90%、「C」と回答した生徒が約10%。多くの生徒は、授業内容の理解を自覚している様子が伺える。
- ・保護者 「教師は分かりやすい授業に努めている」において、「A・B」が約90%と回答があり、保護者からも高い評価を得ることが出来ている。

- ・職員 「確かな学力の育成に関して」項目①～⑤の回答は、「A・B」が90%以上と高い結果となった。

〈本校の取組及び来年度に向けて〉

確かな学力の育成に向けて、多くの職員が、授業交流や校内研修を通して授業力向上OJT（現場での学び合い）に意欲的に参加した。これによりICTの活用や個に応じた学習指導の充実等が図られ、生徒の授業理解や保護者からの高い評価につながった。来年度も、校内での組織的なOJTの充実と新たに導入される「研修制度」を有効に活用し、授業改善を日常化し、「授業力」の向上に努めたい。

- あなたは、自主学習・ノートなどの家庭学習に積極的に取り組んでいますか。

（取組の指標：AB80%以上）

〈集計結果及び状況分析〉

- ・生徒 「A・B」が約77%であり、昨年度から約6%減少した。生徒自身、家庭学習への取組について不十分である自覚が見られる。
- ・保護者 「A・B」が約63%であり、昨年度から約4%減少した。生徒の家庭での様子を知っている保護者が生徒の家庭学習への取組は不十分であると感じている。
- ・職員 「⑥家庭学習の習慣化と内容の充実」の「A・B」が約79%とあり、家庭学習への取り組みが今後の課題であると職員も判断している。

〈本校の取組及び来年度に向けて〉

全ての学年で、家庭学習の定着を目指し「自主学習」の取組を行ったり、定期テスト前を中心に、放課後の学習会や家庭学習の取組を行ったりした。また、昨年度に引き続き、1・2年生は、県の学力向上キャラバンによる家庭学習の充実に向けた取組を実施したが、結果は指標到達に至らなかった。今後は、これらの活動の継続とともに、今年度から校内研で行っている小中連携を一層進め、小学校段階からの家庭学習の習慣化にも努めていきたい。

## II. 豊かな心の育成に関して

- いじめを許さない雰囲気がありますか。（取組の指標：AB85%以上）

〈集計結果及び状況分析〉

- ・生徒 「A・B」が約87%、「C・D」が約13%となり、前年とほぼ同様の結果となった。ただ、「⑦他人には思いやりをもって接していますか」では、「A・B」が約96%とより高い結果が見られる。約10%のズレが生じている。
- ・保護者 「⑤学校はいじめのない正義の通る学校づくりに努めている」の「A・B」が約88%とあり、学校の取組に対し、一定の評価をしているとみなすことが出来る。
- ・職員 「A・B」が約100%であり、自己評価としては高い結果となった。

〈本校の取組及び来年度に向けて〉

「生徒一人一人が大切にされる学校」をスクール・モットーに、生活ノート、日常的な面談、SC・SS W等による相談体制の充実、道徳教育推進教師を中心とした研修の実施や全校道徳等

に取り組んだ。今後も生徒や保護者の思いに寄り添った指導の徹底を図るとともに、「ユニバーサル制服」の導入を通して、持続可能な開発のための教育（ESD）に取り組むことで、誰一人取り残さない学校づくりに努めていきたい。また、特別の教科「道徳」では、内容項目2「人間愛・思いやり」「信頼・友情」「寛容・謙虚」「尊敬・感謝」といった他の人との関わりに重点をおいて指導していきたい。

### ●あいさつ運動の推進（進んであいさつする）

#### 〈集計結果及び状況分析〉

- ・生徒 生徒会の調査を参照すると、「あいさつへの取組」について高い結果となった。
- ・職員 「A・B」が約89%であり、自己評価としては高い結果となった。

【参考】（生徒会調査）あいさつを大切にす気持ちや質を向上させられたか  
「できた」73.4% 「まあまあできた」20.9%

#### 〈本校の取組及び来年度に向けて〉

生徒会では「あいさつ運動」を今年度の活動の最重点に位置付け、「あいさつ隊」を編成するなどして取り組んでくれた。また毎日の登校時や下校時における職員による校門での指導も功を奏し、その成果が学校評価や生徒会調査等に表れている。今後もあいさつに対する高い意識を維持できるよう、継続的な指導に努めていきたい。

## Ⅲ. 健康・安全の向上に関して

### ●学校生活は楽しく充実していますか。（取組の指標：AB80%以上）

#### 〈集計結果及び状況分析〉

- ・生徒 「A・B」が約92%であり、前年とほぼ同様の結果となった。多くの生徒が充実した学校生活を送っている様子が伺える。

#### 〈本校の取組及び来年度に向けて〉

コロナ禍ではあるものの、感染防止対策を万全に行う中で、可能な限り学校行事を推進してきた。そのため、修学旅行、宿泊学習、校外学習、職業体験、合唱発表会、陵風祭など大きな学校行事を予定通り実施することが出来た。また、部活動は、大会前の強化週間とテスト前活動停止期間のメリハリある実施、効率の良い練習内容の工夫等により、各部とも素晴らしい成果をあげることが出来た。この項目に関しては、達成率100%を目指したいところであり、そのためには、個人面談やアンケート調査によって、生徒一人一人としっかり向き合い、生徒の思いを把握し、解決に向けての最大限の手立てを講じることが出来る体制の構築に努めていきたい。

### ●家庭と連携した健康教育の推進

【参考】生活習慣実態調査『平日の就寝時刻が「零時」意向の割合』（取組の指標：保健調査15%以内）  
・5月 26名(約18%) → 12月 30名(約23%)

#### （養護教諭の考察より）

- ・就寝時刻の大きな変動はないものの、夜型生活へ静かに移行している感がある。
- ・生活を改善するためには、本人の困り感や改善意欲が必須で、やる気にさせることが難しい。しかし、知識を持たせ、近くで働きかけることによって、意識を高めることは可能ではないか。

〈本校の取組及び来年度に向けて〉

「保健だより」発行による定期的な健康な体づくりへの周知・協力活動、特設「睡眠について」の学習会の実施、健康診断結果の周知・助言等を通して、家庭と連携した健康教育の推進を図ることが出来た。しかし、調査からは就寝時間が遅い生徒が2割ほどいることが課題として浮き彫りになった。生活習慣の改善には家庭との連携が欠かせないことから、来年度は「PTA活動による保護者との連携」を推し進めたい。

#### IV. 地域・保護者との連携に関して

- 学校は家庭への連絡や情報提供を積極的に行っていますか。(取組の指標：AB85%以上)

〈集計結果及び状況分析〉

・生徒 「A・B」が約92%と高い結果となった。

・保護者 「⑦情報提供」については、「A・B」が約92%と高い結果となった。また、「⑧保護者や地域との連携」では、「A・B」が約87%と高い結果となった。しかし約12%の方が、連携不足を感じている。

〈本校の取組及び来年度に向けて〉

学校としては、各種たよりの発行や学校ホームページを通して、保護者への情報提供や情報共有に積極的に取り組んだ。また、安心・安全メールを効果的に活用し、迅速で正確な情報提供にも努めてきた。一方、保護者には、コロナ禍における安全確保のための行事等への参加制限をご理解いただき感謝している。来年度も、感染症対策に万全を尽くした上で、様々な工夫を凝らし、開かれた学校づくりに努めていきたい。

- 小中連携が図られていますか。(取組の指標：AB75%以上)

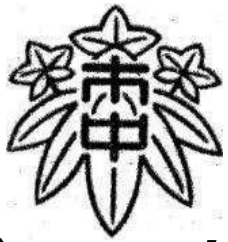
〈集計結果及び状況分析〉

・職員 「AB」が100%と高い結果となった。しかし、「A」は約40%であり、職員の声の中にも、今後のより充実した連携を望む声が見られる。

〈本校の取組及び来年度に向けて〉

今年度、県の研究指定を受け「教科担任制」の研究に取り組んだ。この中で、小中合同の授業研究会や児童・生徒に関する情報交換の場を持つことができた。今後はこの研究をさらに推し進め、各教科の9年間を見通した「指導計画の作成」や、スムーズな小中接続のための「小中ギャップの解消」に努めていきたい。また、ふるさとキャリア教育「みさと学」での系統的な地域との関わりについても具体的に進めていきたい。





# 令和4年度 市川中学校 グランドデザイン

## 学校教育目標

知・徳・体の調和  
のとれた「たくまし  
い生徒」の育成



### めざす学校像

1. 学ぶことが楽しい学校
2. 活気があり，笑顔のあふれる学校
3. 地域が応援し，保護者が信頼する学校



### めざす生徒像

1. 自ら考え，主体的に学ぶ生徒（知）
2. 他者を敬い，感性豊かな生徒（徳）
3. 心身の健康に努め，自己管理をする生徒（体）



### めざす教師像

1. 生徒，保護者の思いに寄り添った丁寧な指導に努める教師
2. 豊かな人間性と専門性を発揮する教師
3. 学び合い，助け合い，高め合える教師



## 今年度の重点取組及び分掌

### 確かな学力の育成

- わかる，できる，出番のある授業（全）
- ICT機器の積極的な活用（全）
- 個に応じた学習指導の充実（全）
- 授業交流による授業力の向上（全）
- 校内研を中心としたOJTの充実（市瀬）
- 家庭学習の習慣化と内容の充実（吉村）
- 外国語教育の充実（清水・市瀬・永田）
- 読書活動の推進（松野・渡邊）
- 個に応じた丁寧な進路指導の推進（村松）
- 豊かな学びのための有効な予算執行（佐野ゆ）

### 豊かな心の育成

- いじめを「許さない」「させない」指導の徹底（岸本）
- 不登校を未然に防ぐための保護者やSC等との連携（教頭・岸本）
- 「考え議論する道徳」の推進（清水）
- あいさつ運動の推進（佐野司）
- 合唱活動の充実（岸本）
- ボランティア活動の推進（守屋）
- QU調査の効果的な活用（串松）
- インクルーシブ教育の推進と特別な支援の充実（岸本）
- みさと学（ふるさとキャリア教育）の推進（小林里）

### 健康・安全

- 生徒自ら行う健康管理の推進（高井）
- 家庭と連携した健康教育の推進（高井）
- 「SNS利用宣言」の継続的な取組（守屋）
- 体力テストの結果分析と課題の改善（塩澤）
- メリハリのある部活動の推進（塩澤）
- 防災防犯訓練等の計画的な実施（教頭）
- 校内環境美化の推進（雨宮・山田）

### 地域との連携

- 学校ホームページの充実（塩島）
- 各種「たより」の計画的な発行（各担当）
- 学校・家庭・地域連携推進協議会の活動の充実（小林伸）
- 地域学校協働本部の活動の充実（教頭）
- 小中連携の推進（小林伸）

## 取組の指標

あなたは授業内容が理解できていますか。  
学校評価AB80%以上

学校では、ICT機器をどの程度使用していますか。  
全国学テAB 50%以上

あなたは、自主学習ノートなどの家庭学習に積極的に取り組んでいますか。  
学校評価AB80%以上

いじめを許さない雰囲気がありますか。  
学校評価AB85%以上

自分自身の良さに気づき、伸ばそうと努力していますか。  
道徳調査AB60%以上

進んであいさつする生徒の6月と12月の割合  
生徒会調査AB10%増

学校生活は楽しく充実していますか。  
学校評価AB80%以上

平日の就寝時刻が零時以降の割合。  
保健調査15%以内

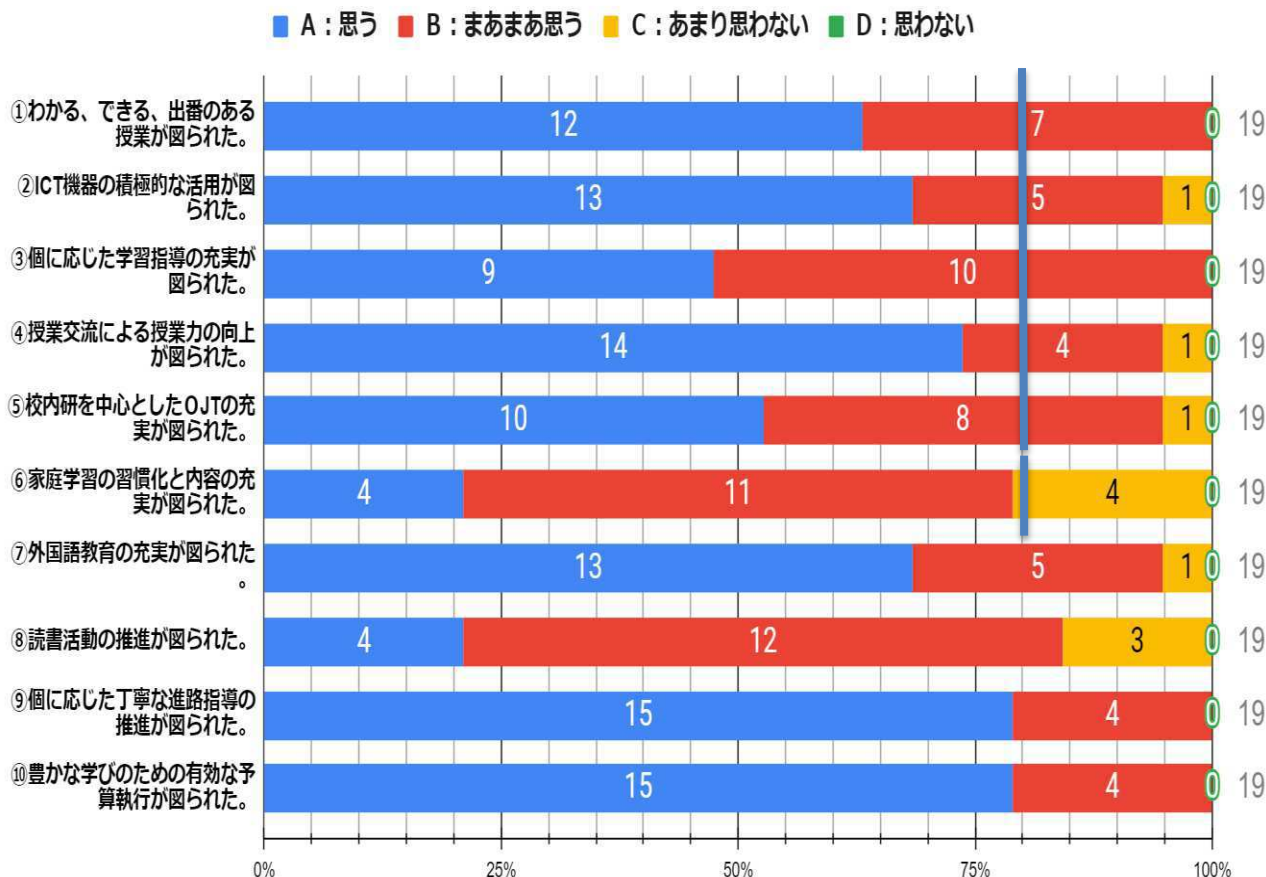
反復横跳びの4月と10月の記録。  
新体力テスト2回増

学校は家庭への連絡や情報提供を積極的に行っていますか。  
学校評価AB85%以上

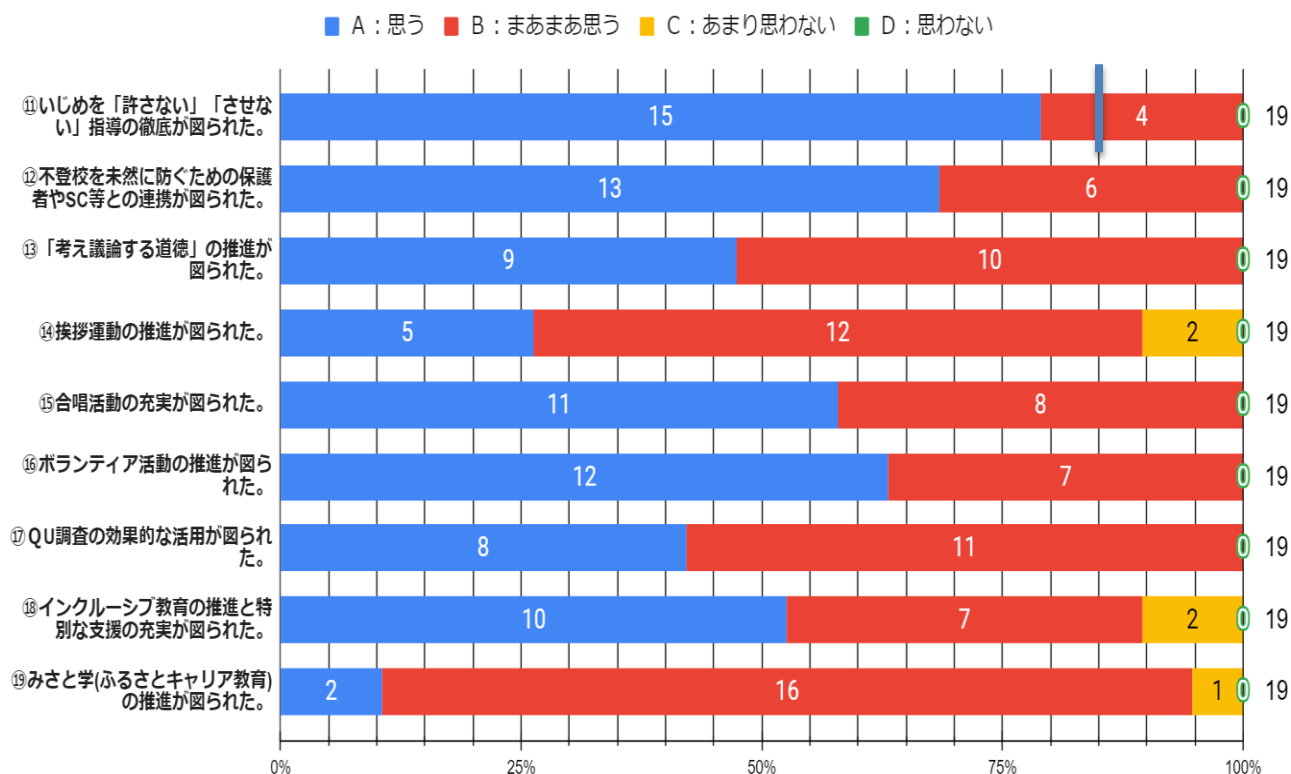
小中連携が図られていますか。  
学校評価AB75%以上

# 令和4年度 学校評価(職員・2学期末) まとめ

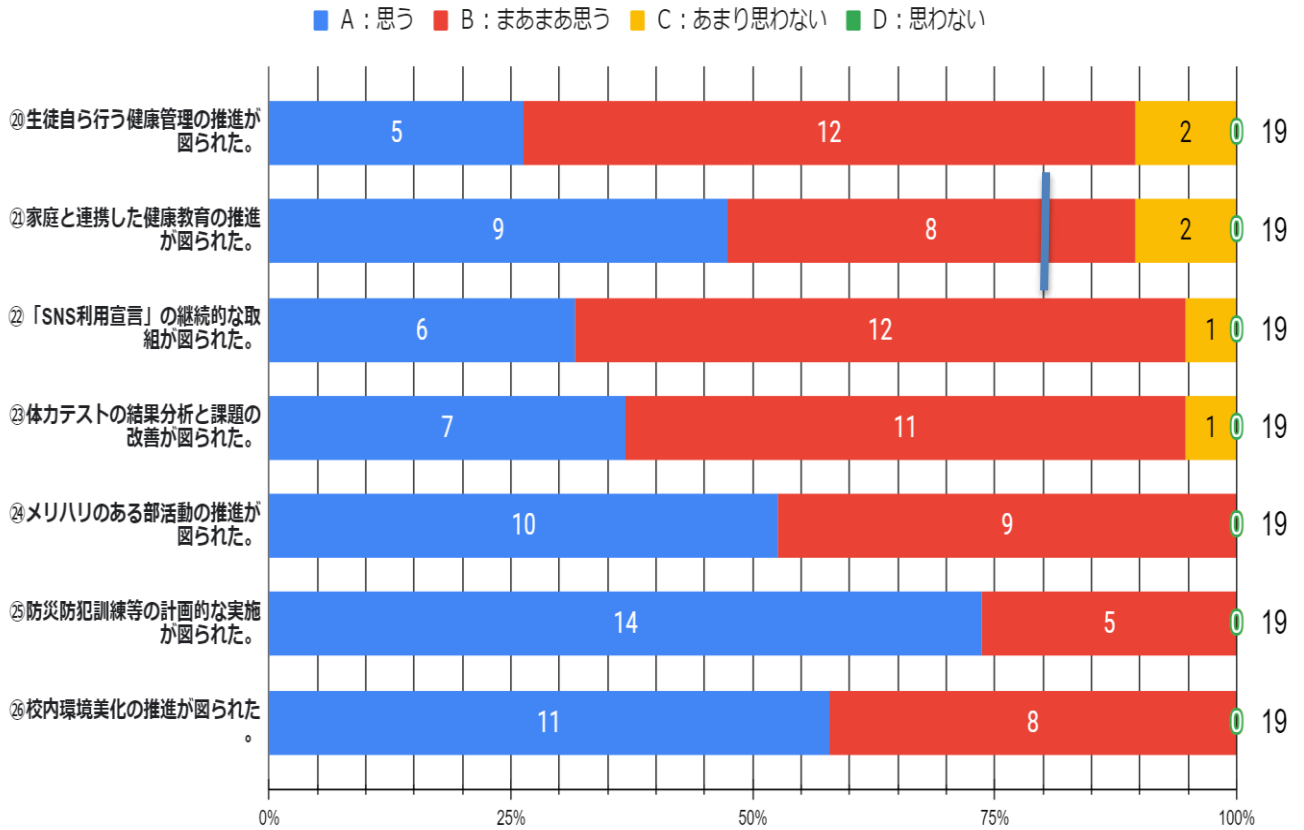
## 確かな学力の育成に関して



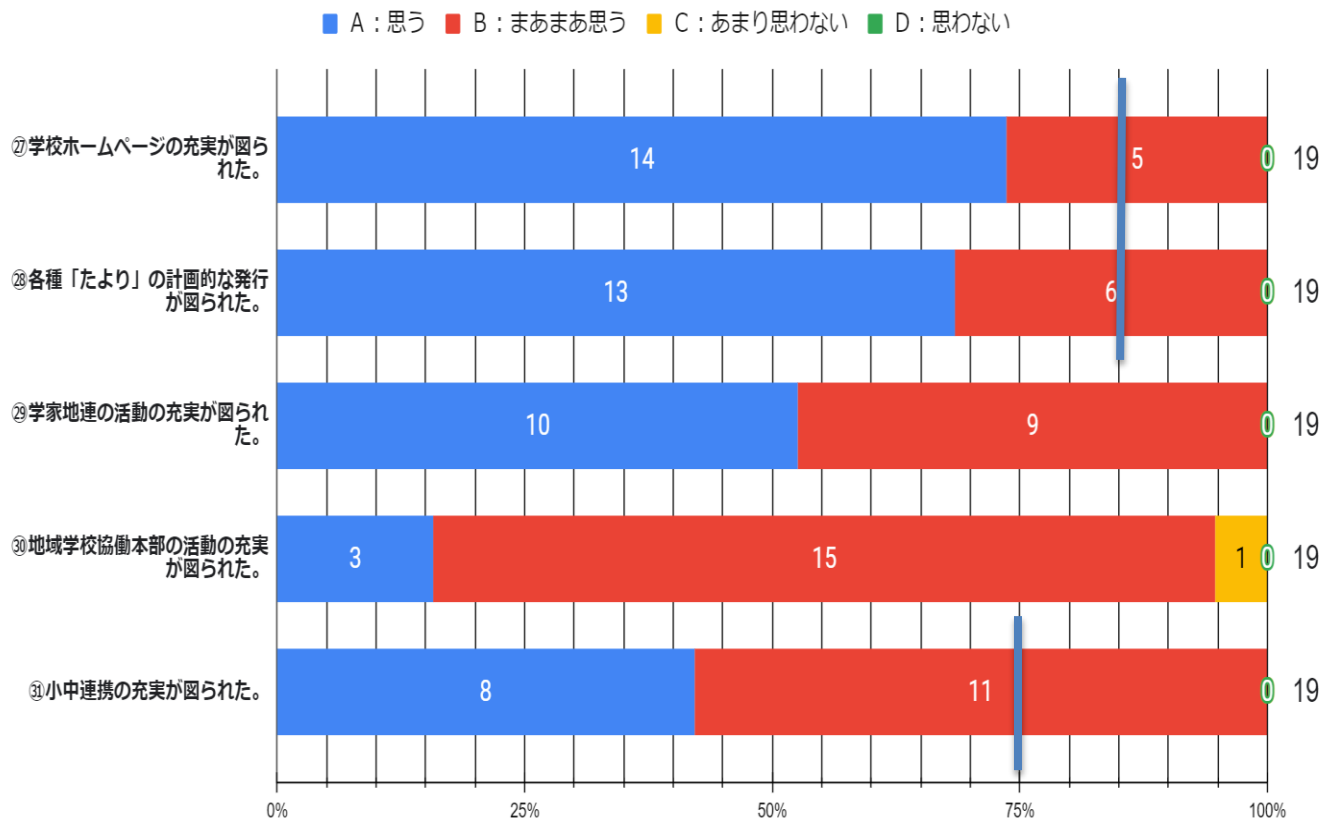
## 豊かな心の育成に関して



## 健康・安全に関して



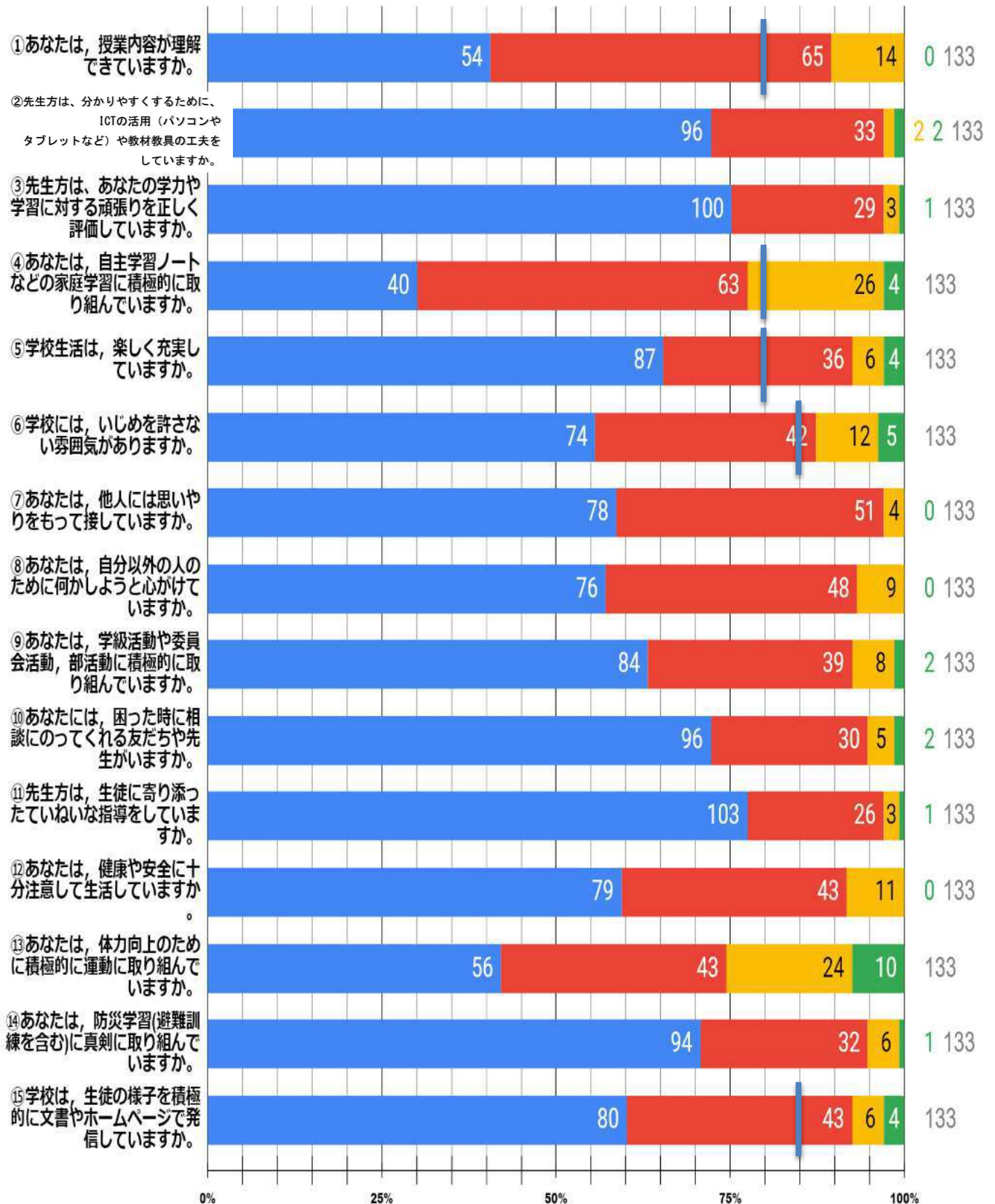
## 地域との連携に関して





# 生徒アンケート 集計結果

■ A: 思う(そうしている) ■ B: まあまあ思う(まあまあそうしている) ■ C: あまり思わない(あまりそうしていない) ■ D: 思わない(そうしていない)





# 令和4年度 保護者アンケート(2学期末)

■ A: 思う ■ B: まあまあ思う ■ C: あまり思わない ■ D: 思わない

